

進学会の特長

フィードバックシステム

生徒の予習と講師の予習調べ

家庭学習
習慣が定着

進学会の授業は「予習調べ」からはじまります。予習を通して、「できる」と「できない」を明確にし、毎回の授業に目的意識を持ってもらっています。

指導する我々も予習状況から、どこを重点的に指導すべきかを判断した上で授業を行います。「予習」が学習効果・効率を上げる秘訣です。



予習調べの様子

進学会の授業

テキストは
完全消化!

予習調べをしているので、各自の弱点に合わせて効果的に授業をします。「発問」が多く適度な緊張感とわかりやすく楽しい授業が魅力です。

使うテキストは進学会のオリジナルテキストです。学校の教科書に対応した教材を目的別・レベル別に作成しています。生徒を知る講師陣が執筆を行うことで、限られた指導時間の中で、効果的に必要な学習事項が習得される『最高の教材』を生み出しています。



授業風景(国語)

復習 & S-PLAS

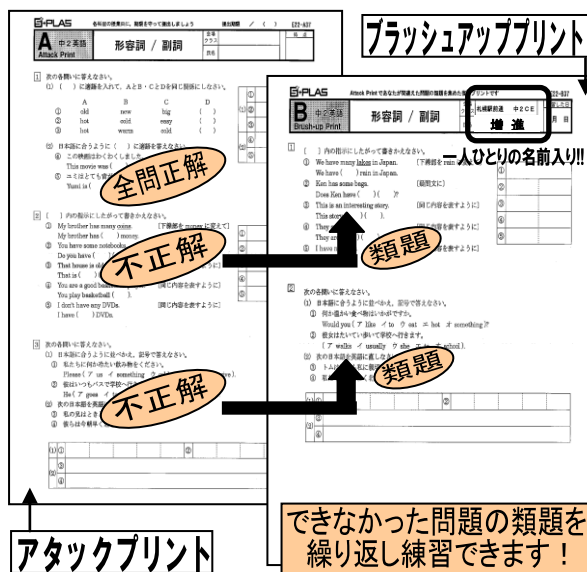
弱点箇所の
集中特訓

「復習が大事」と言われることは多いと思いますが、進学会では効果的な「復習プログラム」をご用意しております。(単に、家庭学習用教材で復習させるわけではありません)

S-PLAS(進学会プリントラーニングアシストシステム)は、授業で扱った内容を復習する専用プリントです。(アタックプリント) 解いたプリントを提出し、翌週に不正解だった問題の類題プリントをお渡ししています。(ブラッシュアッププリント)

さらに、定期試験前には試験範囲の該当箇所を指定し、**間違えた問題をまとめて再出力**することができます。

復習も含めた指導まで行うのが当会の強さの秘訣です!



次ページへ続く

フィードバックテスト

定着度の確認

[5科目+計算英単語]×[年間12回]=合計72回の到達度確認テストを通常授業時に実施します。

72回すべてのテストにおいて、平均点・全国順位だけでなく、偏差値まで出します。全国展開の総合学習塾だからこそできる統計処理が進学会にはあります。

学校の授業

理解度
倍増

進学会は学校の「先取り」を行うので、学校は復習の場となります。

学習効率も良く、知っている内容だから、積極的に発表できるので、「**内申点**」も期待できます。

試験対策“専用”授業

徹底分析に基づく
定期試験対策

定期試験2週間前から「**試験対策授業**」がスタート！

各中学の**定期試験問題の「回収・分析」**をしています。

単に試験範囲の授業をするのではなく、「**頻出問題や差が付く問題**」をテキストの試験対策問題を通じて、指導しています。

例えば、ある通塾生は**入塾前71位**から、順調に順位を伸ばし、およそ9ヶ月後の定期試験で**自己最高の12位**まで順位を向上させています。また、定期試験で1位を獲得したことがなかったある生徒は、**通塾し始めてから定期試験をはじめ、実力テストも含めて、学年1位を5回連続**で取り続けています。定期試験の確実な対策方法を進学会は知っています。



講師の過去問分析の様子

全国一斉模試

入試レベルの
出題で判定

全国一斉模試（合格判定テスト・学力コンクール）は中3で全8回、小4～中2では全7回あります。全国一斉模試は全国で同日に開催され、**志望高の合格可能性を精密に判定**します。

試験範囲は今までに学習した全範囲が出るので、定期試験だけではわからない『**真の学力**』がわかります。さらに、テスト終了後はできなかった問題の解き直しをしてもらいます。**進学会は、「弱点」に焦点を当てて、徹底的に反復させるシステム**を持っています。



全国一斉模試の様子

講習会

熱い授業で
君を迎える！

春・夏・冬の講習会は復習が中心です。講習会の始めには、「**弱点診断テスト**」があり、『**弱点**』を把握した上で、講習会に臨めるようになっていきます。

「**できない**」を「**できる**」に変える。言葉では簡単そうに聞こえますが、お子様ひとりでは難しいことです。

進学会にはそれができる『**システム**』があります。



授業風景（社会）

黒板の板書（理科）

このシステムで**トップ高・上位高合格者を多数輩出**しています。
進学会には**学習理論に基づいた明確な「指導システム」**があります！

学習事項の完全定着を目指す「指導システム」

継続授業

予習 ▶ 授業 ▶ 復習 ▶ テスト による学力向上

フィードバックシステム

「繰り返す」ことで「定着」する。創立以来の独自システム。

学力を向上させるためには、「繰り返し」学習し、知識を「定着させる」ことが不可欠です。当会の指導システムは、予習—授業—復習—テストを効果的につなげ、何度も繰り返す独自のシステムです。学校の授業を先取りし、すべて講師自ら執筆・編集した教科書別、レベル別、目的別のオリジナルテキストを完全消化し、日々の授業で定着度を確認するテストも実施します。毎回の授業では、予習もチェックしますので、自然と家庭での学習習慣が身につきます。さらに、新たに導入した一人ひとりに対応した復習を強化する復習システム「S-PLAS」では、単元毎の知識を確認するアタックプリントを実施し、生徒一人ひとりの間違った問題に対応する類題を集めたブラッシュアッププリントを提示します。集団での競い合いと、生徒一人ひとりに対応した復習システムで効率的、効果的に成績を向上させます。

① 継続授業

学校の授業の一步先を進みますので、継続授業が学校の授業の予習といった側面をもっています。継続授業では必ず予習を確認します。分からなかったことを授業で解決します。



④ 公開テスト

年間8回行うテストで、志望校の合格可能性と日々の学習成果をフィードバックして、随時チェックできます。

② S-PLAS 復習プリントを家で解いて次回授業時に提出。さらに一人ひとりの間違えた問題の類題を集めた名前入りのプリントで弱点を重点的に克服します。

③ 各期講習会(春・夏・冬)

今まで学習した事項をフィードバックしながら、基礎事項の再確認と知識の総合的な積み重ねを図ります。ここでも予習 → 授業 → 復習のサイクルを組み込んでいます。

